

11. 試運転の実施

■「洗い」「脱水」の運転を確認してください。

- 1

電源プラグを差し込み、水栓を開き、給水ホース部から水もれがないこと。
- 2

電源「入」ボタンを押し、「スタート」ボタンを押します。
- 3

パルセータが左右に回転し、洗剤量を表示し（蓋閉時には残り時間を表示）、給水が始まります。1番下の水位になることを確認します。
- 4

「水位」ボタンを押し、1番上の水位を選択します。
- 5

約5分間運転し、異常音、水もれがないことを確認します。
- 6

電源「切」ボタンを押します。
- 7

電源「入」ボタンを押します。
- 8

蓋を閉めて「脱水」ボタンを押し、「スタート」ボタンを押します。
- 9

排水が始まります。排水ホース部から水もれがないことを確認します。
- 10

脱水を約3分間運転し、異常音、異常振動がないことを確認します。
- 11

「スタート」ボタンを押し、蓋ロックが解除されることを確認します。
- 12

電源「切」ボタンを押します。
- 13

風呂の残り湯がある場合は、風呂水ホースを使って、給水確認もします。

※洗い→脱水、脱水→洗い時にパルセータが小きざみに正回転し、“カチ”と音がしますが、クラッチの切換動作であり異常ではありません。

以上で試運転は終了です。

電気洗濯機（家庭用）
電気洗濯乾燥機（家庭用）

据付説明書

設置の手順（もくじ）●●●

1. 本体運搬のご注意	1
2. 別売部品(据付関係)	1
3. 設置場所の確認	2
4. 排水口の位置と設置方法	4
5. 水平・ガタつきの確認と調整	7
6. 衣類乾燥機とセットで使うとき	9
7. アース線の取り付け	10
8. 電源コードの接続	10
9. 給水ホースの取り付け	11
10. チェック項目	13
11. 試運転の実施	15

据え付けをされる方へ

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく据え付けてください。
- 据え付け終了後、13、14ページの「チェック項目」に基づいて必ず確認を行ってください。
- この据付説明書は据え付け終了後、お客様にお渡しください。

お客様へ

- この据付説明書は据え付け後も「取扱説明書」と共に大切に保管してください。（引越しや排水口の点検などの移動に対応するためです）

1. 本体運搬のご注意

- 本体全面にヒザを当てての本体の運搬はさけてください。
(外箱前面が変形する恐れがあります。)


- 狭い場所などに本体を据え付けるとき、衣類投入口を持つての運搬はさけてください。
(プラスチック部品が破損する恐れがあります。)


- 本体を移動するとき、引きずることはさけてください。
(床のキズつきと、防振のゴムが外れ振動・異常音の発生する恐れがあります。)



2. 別売部品（据付関係）

こんなときに	部品名		部品コード・型名
給水ホースを延長したいとき 付属品の給水ホースに継ぎたして使用してください	給水ホース延長	長さ0.5m	42040662
		長さ 1m	42040663
		長さ 2m	42040664
		長さ 5m	42040665
自在水栓、万能ホーム水栓にホース継手を取り付けるとき	給水栓ジョイント		CB-J6
洗濯機専用に水栓を設置したいとき	分岐水栓		JB-11
ふろ用水給水ホースの長さが4mで足りないとき	ふろ用水給水ホース フィルター付長さ7m		42040649
ふろ用水給水ホースを傷めてしまう恐れがあるとき	保護スリーブ		42040658
排水ホースを延長したいとき	排水延長ホース 長さ1.2m		42040679
排水口が洗濯機の下にあるとき	裏排水パイプ	長さ0.2m	THP-2
		長さ0.4m	THP-3
衣類乾燥機の排水ホースと洗濯機の排水ホースをつなげたいとき	排水ジョイントセット 付属品：衣類乾燥機用排水ホース1本（1.5m） 排水ホースバンド1個（洗濯機用）		DJS-1
	排水継手1 (真下排水パイプ使用時)		42041112
衣類乾燥機の排水ホースが洗濯機のふたにあたる時	乾燥機用S字フック		42018326
据付場所に防水パンがないとき * 気温が高く水温が低い場合には洗濯機に露がついて（結露）床面を濡らすことがあります。	洗濯機トレー 幅 540(536)mm 奥行 540(536)mm 高さ 10mm ()内は内寸		TZ-10
水準器の基準線が気泡の中に入らないとき（水平調整用）	脚キャップ 6mm用／3mm用各2個		42006207
排水口の糸くすが気になるとき	糸くずフィルターボックス 付属品：排水ホース1本（長さ750mm） 排水ホースバンド2個		THB-100

※標準価格は「取扱説明書」の別売部品をご覧ください。

3. 設置場所の確認

- 据え付けに必要な寸法を確認します。

本体は前面や上面を50cm以上開放して、背面や左右を壁から下図の寸法以上離します。壁面とのすき間が狭くなると壁との接触による異常音の原因となります。

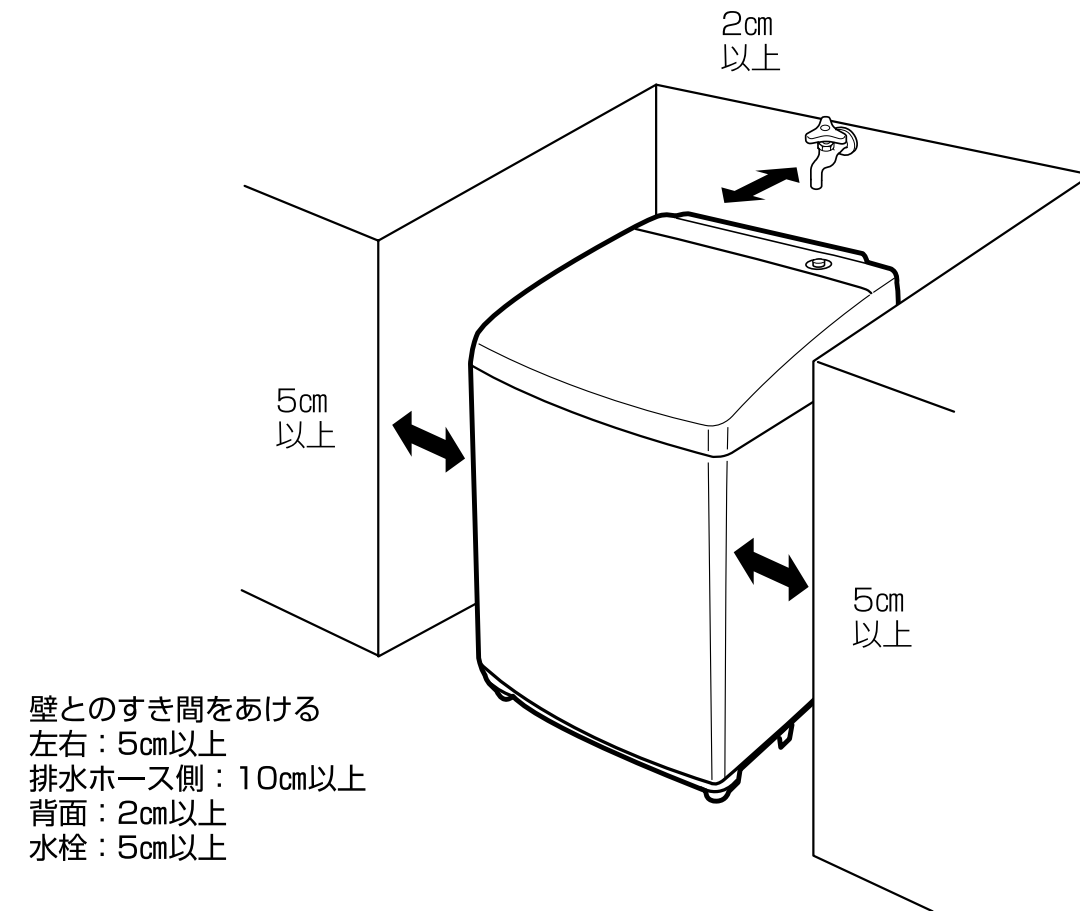
排水ホースを通す部分は、10cm以上離してください。異常な振動や音を防ぐためです。

警告

 浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には設置しない

 水場での使用禁止

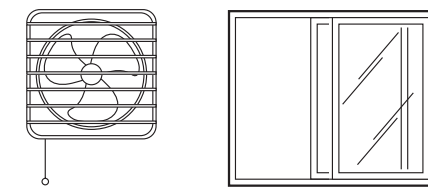
感電や漏電による火災の原因となります。



洗濯乾燥機特有項目

[消防法基準適合組込形]
建築物の可燃物等からの離隔距離は表にかかげる値以上の距離を保ってください。
この洗濯乾燥機は[消防法設置基準]に基づく試験基準に適合しております。

- 窓や換気扇のない場所はさけます。
乾燥時、壁や床が結露する恐れがあります。

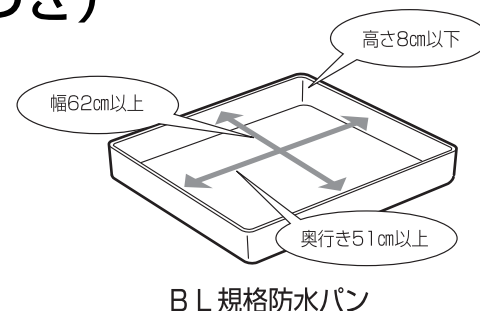


場所	離隔距離 (cm)
左方	5
右方	5
後方	2
下方	0
上方	50

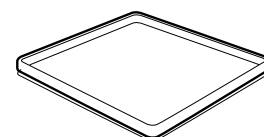
3. 設置場所の確認 (つづき)

■防水パンの寸法を確認します。

防水パンに設置する場合は、内側寸法幅62cm以上、奥行き51cmが必要です。



BL規格防水パン



幅540×奥行き540×高さ10mm
洗濯機トレイ (TZ-10)

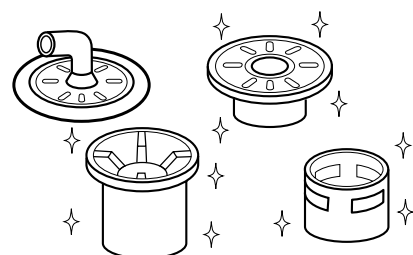
●防水パンがなく木床などに直接据え付ける場合。

夏季など湿度の高いとき、冷水などの使用による洗濯時や、冬季など室温の低いときに、洗濯機の内側が結露し、床面をぬらすことがあります。

別売の洗濯機トレイ (TZ-10) のご使用をおすすめします。

■排水口を確認します。

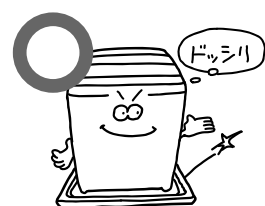
排水口の清掃をしてください。



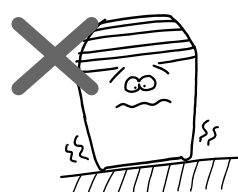
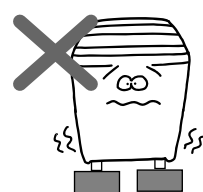
排水口には糸くずや汚れがたまりやすいものです。放置しておくと排水のエラーや悪臭の原因になります。

■しっかりした水平な床を選んでください。

ブロックや角材・レンガの上など不安定な所には据え付けしないでください。振動や騒音が大きくなり危険です。

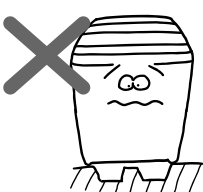


しっかりした水平な床の上



ブロックなどの上

傾いた床の上



弱い床の上

凹凸な床の上

次のような場所には据え付けしないでください。

冬期、凍結する恐れがある場所はさけます。

直射日光のあたる場所はさけます。

●プラスチック部品の色や形が変わることがあります。

発熱器具のそばや有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を扱う場所はさけます。

ベランダや弱い床、またはタイルなどすべりやすい場所はさけます。

●振動や騒音が大きくなったり、途中で止まる原因になります。

4.排水口の位置と設置方法

■排水口の位置を確認します。

同時にエルボ（接続用L字継手）の有無を確認します。

A : 排水口が本体の右側または後側にある場合

そのまま排水ホースを排水口に接続します。

P.4

B : 排水口が本体の左側にある場合

排水ホースを左出しに付け換えた後、排水ホースを排水口に接続します。

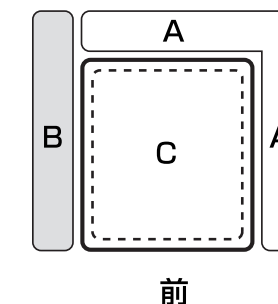
P.5

P.4

C : 排水口が本体の下にある場合

真下排水パイプを使用して排水口に接続します。

P.6



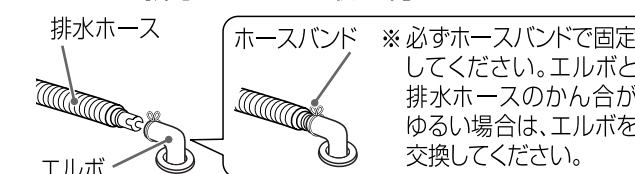
A : 排水口が本体の右側または後側にある場合

排水ホースは洗濯機右側下部より引き出してください。

■排水口への取り付け

〈排水口にエルボがある場合〉

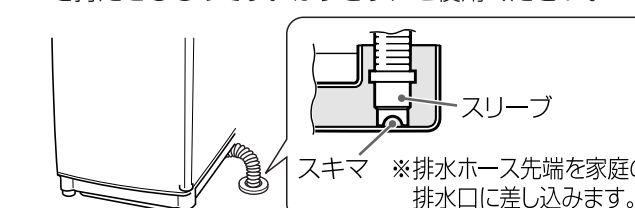
エルボに排水ホースを取り付けます。



〈排水口にエルボがない場合〉

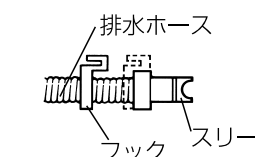
排水ホースの先端を家庭の排水口に差し込みます。

●排水ホースの先端のスリーブは、ホースの先端にスキマを持たせるものです。はすさずにご使用ください。

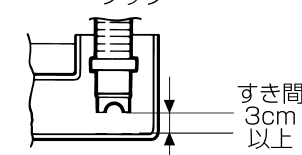


お願い ●ホースのこすれに注意してください。またホースを本体の下に入れないでください。ホースに穴があくおそれがあります。

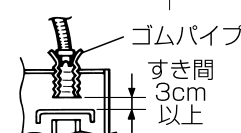
●排水ホースを排水口に差し込むときは、フックをずらしします。



●ホースの先にスキマをもたせます。

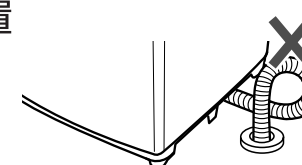


●防水パンの場合、ゴムパイプの先にスキマをもたせてください。

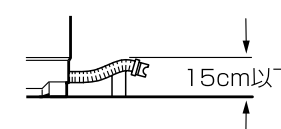


■排水ホースの処置

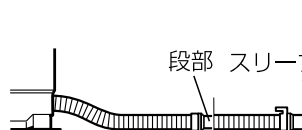
●引き回しにより、排水ホースが途中でよじれたり、高くならないようにしてください。



●敷居などで、排水ホースが高いと排水できないことがあります。



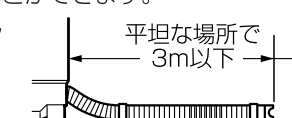
●ホースが長い場合は段部で切ってください。ホースを切ったあと、先端にスリーブを差し込んでください。



■排水ホースの延長

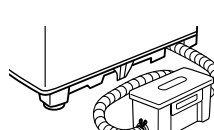
●排水ホースを延長したいときは別売の排水延長ホース（部品コード42040679）を使用してください。平坦な場所で3mまで延長することができます。

●ホースは水が流れやすいようにしてください。平坦な場所で3mまで延長することができます。



■糸くずフィルターボックスの取り付け

●排水口の糸くずが気になるときは別売の糸くずフィルターボックス（THB-100）を使用してください。排水口のつまりを防ぎます。



4.排水口の位置と設置方法 (つづき)

B：排水口が本体の左側にある場合

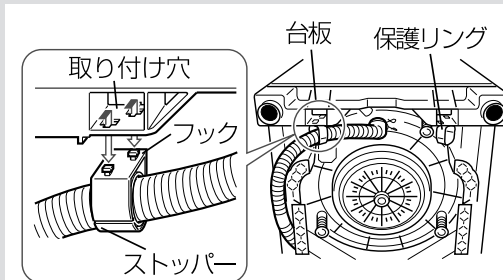
排水ホースを左出しに付け換えた後、排水ホースを排水口に接続します。

■排水ホースの付け換え

- ・排水ホースは工場出荷時には、向かって右側にセットしてあります。左側にする場合は付け換え作業が必要です。
- ・付け換え作業は製品を設置する前に、広い場所で行ってください。

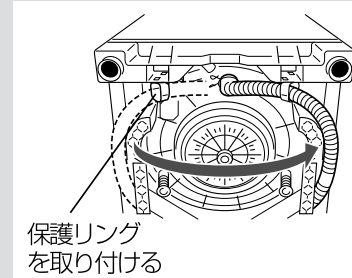
1 本体の前面が下になるようにダンボールなどの上に倒します。

2 台板のツメ（1箇所）をマイナスドライバーなどでひろげながらストッパーを奥側（洗濯機上方側）へ押し上げ、台板からはずし、ホースをはずします。



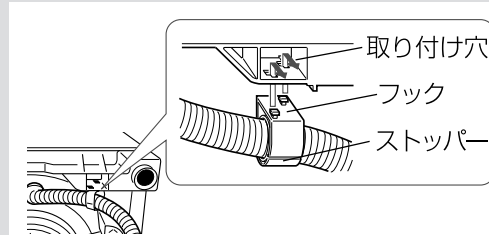
3 保護リングも同じ手順ではずします。

4 ホースを洗濯機左側にし、ストッパーを台板の取り付け穴にはめ込み、手前に引き固定します。

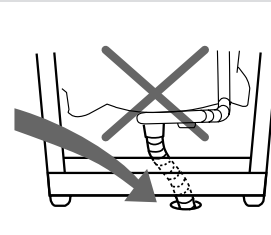


5 3にてはずした保護リングを反対側の取り付け穴にはめ込み、手前に引き固定します。

6 フックが取り付け穴2箇所にかかっており、簡単にはずれないことを確認します。（排水ホースのストッパー、保護リングともに確認します。）



お願い
製品内部から排水ホースを直接排水口に入れると、穴あきによる水もれや異常音の原因になります。このような処理は絶対しないでください。



7 付け換え後に必ず試運転を行い、水もれや異常音が発生しないか確認します。
●ストッパーをホースからはずしたりホース固定位置を変えないでください。
水もれや異常音の原因となります。

C：排水口が本体の下にある場合

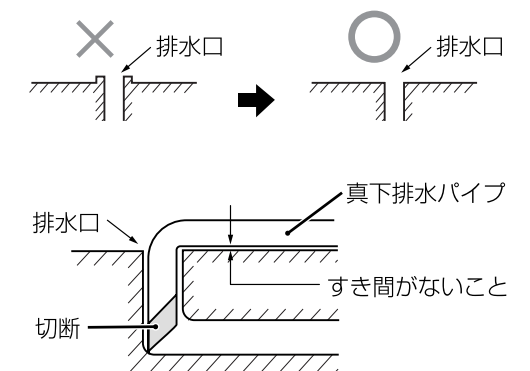
真下排水パイプを使用して排水口に接続します。

■真下排水パイプの準備と洗濯機の設置まで

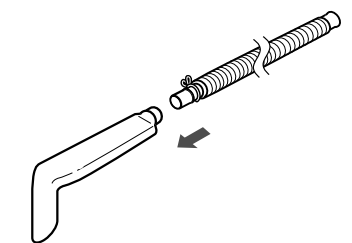
1 真下排水パイプの準備をし、排水口の深さを調整します。

真下排水パイプは、設置場所に合わせた長さのものをご用意ください。P.1
排水口が床面より突出している場合は、床面と同じ高さまで排水口を切断してください。

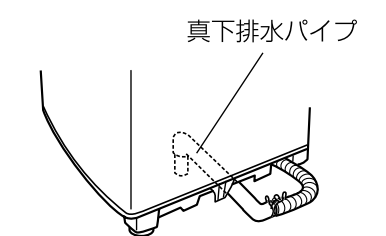
真下排水パイプが排水口に当たる場合や、底との間にすき間がない場合は、真下排水パイプ先端（エルボ側）を切り、調整してください。



2 真下排水パイプに排水ホースを接続します。
排水ホースが長すぎる場合は、重ねたり折り曲げたりせず、ホースを段部で切断して、たるまないように調整してください。
真下排水パイプの外周及び排水ホースの内周に真下排水パイプ付属の接着剤を均等に塗り、差し込み後、バンドで固定してください。



3 真下排水パイプと洗濯機を設置します。
真下排水パイプは台板側面の切り欠き部（凹部）または、後部から出して使用してください。前部からは取り付けできません。
真下排水パイプを排水口に確実に差し込み、浮きがないことを確認します。真下排水パイプが浮き上がると、排水異常や異常音の原因となりますので、確実に差し込んでください。



5. 水平・ガタつきの確認と調整

⚠ 注意



本体底面に手や足などを入れない
回転部などがあり、けがをするおそれがあります。

■設置の際は本体の水準器の気泡が指定位置になるように、またガタつかないように脚の調整を行ってください。

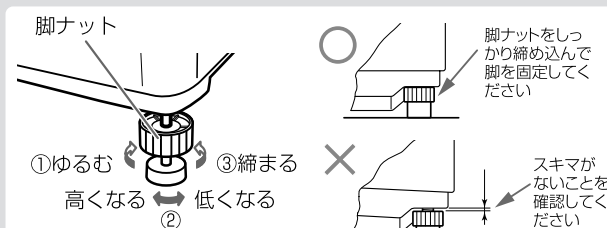
本体手前の右側の脚が調整可能です。

■設置場所が狭く調整しにくい場合は、設置場所の手前で一旦調整しておき、設置後に再調整することをおすすめします。

■脚の調整は、本体上部を支えながら行ってください。
本体底部は持たないでください。

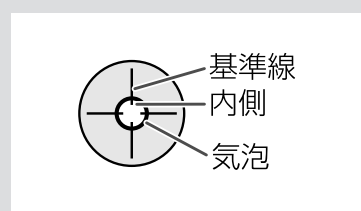
1 ガタつかないよう脚を調整します。

※調整した後は必ず脚ナットを③の方向に回してしっかり固定してください。
また、本体前側の底部が床に当たらないように調整してください。
当っていると振動や異常音の原因となります。
※防水パンに設置するときは、脚が防水パンのコーナー部などに乗り上げないようにしてください。



2 水準器を真上から見て、気泡の位置を確認します。

基準線の内側が気泡の中に入っていれば調整の必要はありません。



基準線の内側が気泡の中に入っていない場合は、調整の必要があります。
調整脚と別売の脚キャップで調整します。

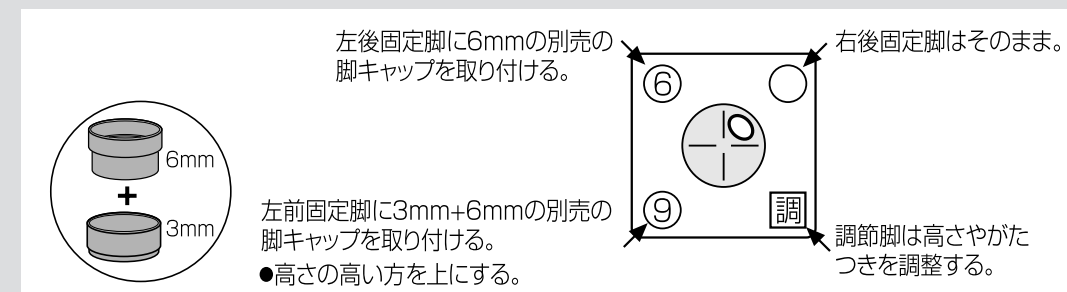


3 本体の水準器の気泡が指定位置になるように調整します。

水準器の気泡の位置に応じて、固定脚に別売の脚キャップを取り付け 調整します。（調整脚も1の手順に従い、合わせて調整します。）

●気泡が片寄っている方向が高くなっていますので、その反対側の脚を高くするように調整してください。

■下表の見かたおよび別売の脚キャップの取り付け方法。

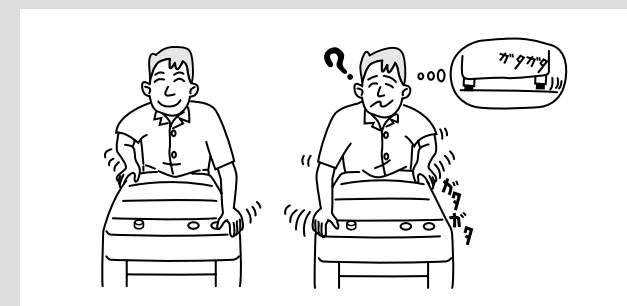


●水準器の気泡が下表より大きくはみ出している場合は、まず板などを敷いて傾きを小さくしてから調整してください。

調節方法例 水準器の気泡の方向	※○印の中の数字に合う別売の脚キャップを脚に取付てください。 (調節脚については回して調節してください)			
1 気泡の位置が前後、左右の場合 ↑後面 左←○→右 ↓前面	脚キャップ3mm+6mm ○ 調	脚キャップ3mm+6mm ○ 調	脚キャップ3mm+6mm 2個 ○ 調	脚キャップ3mm+6mm 2個 ○ 調
2 気泡の位置が前後、左右方向に対して斜めになっている場合 ↑後面 左←○→右 ↓前面	脚キャップ6mm 2個 ○ 調	脚キャップ6mm ○ 調	脚キャップ6mm 脚キャップ3mm ○ 調	脚キャップ6mm 脚キャップ3mm+6mm ○ 調

4 本体の対角を押え、ガタつきがないか確認します。

●ガタつきがあると振動が大きくなったり、異常音が出たりします。
ガタつきがある場合は、再調整してください。



6. 衣類乾燥機とセットで使うとき

衣類乾燥機の取扱説明書に従って据え付けてください。凍結したり、ホースがつぶれていると排水できないため、衣類乾燥機のご使用前に確認してください。

■使えるドライヤースタンド

	種類	防水パン	設 置
洗濯機	床置き式	なし	○
	直付け式	あり	△ 防水パン奥行き（内寸）55cm以上必要
洗濯乾燥機	床置き式	なし	○
	直付け式	あり	△ 防水パン奥行き（内寸）58cm以上必要
	直付け式	なし／あり	×

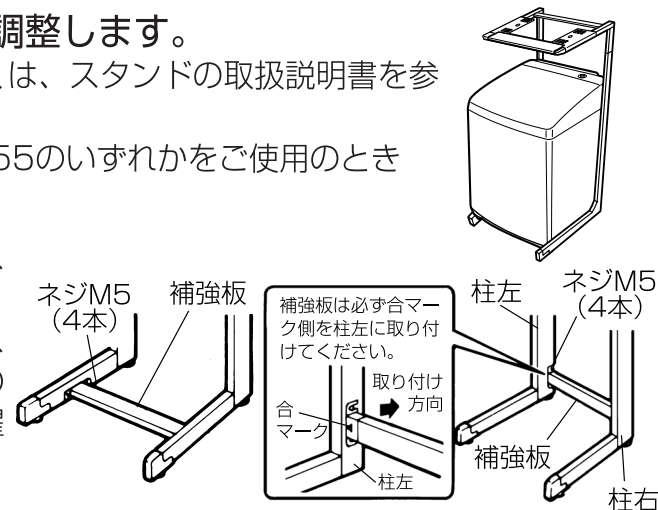
■洗濯機に合わせてスタンドの幅や高さを調整します。

幅に合わせて締め付け位置を調整します。詳しくは、スタンドの取扱説明書を参照してください。

ドライヤースタンドDS-72、58、57、56、55のいずれかをご使用のときは補強板を後側に取り付け直してください。

※DS-58、57、56、55の場合、洗濯機はスタンドの柱の内側には入りません。

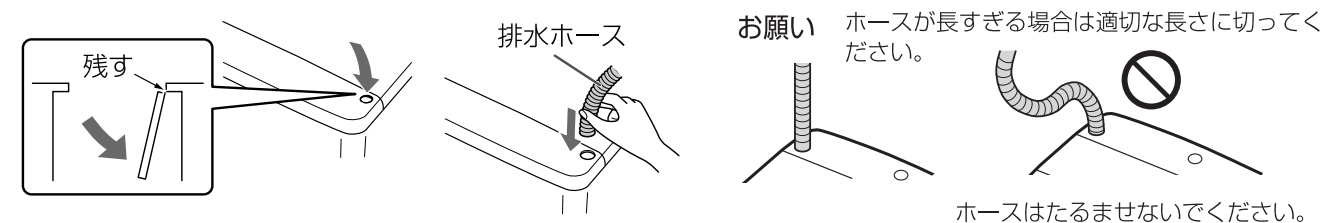
補強板を後側に取り付けられないドライヤースタンドをご使用の場合は、洗濯機台板の側面の切り欠き部（凹部）に補強板がくるように洗濯機を設置してください。



洗濯機特有項目 洗濯乾燥機には乾燥機用排水口はありません。

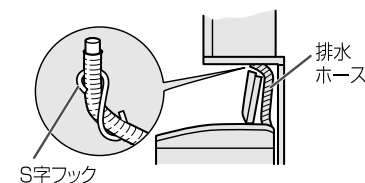
■除湿乾燥機の排水ホースを接続する場合

乾燥機用排水口を押して内側へ落とし込みます。除湿乾燥機の排水ホースを3山以上回しながら押し込みます。差し込みが不十分では乾燥機の水蒸気が結露することがあります。



■衣類乾燥機の排水ホースが洗濯機のふたにあたる場合

別売の「乾燥機用S字フック」を排水ホースにセットしてから衣類乾燥機の排水口に入れます。（一部の衣類乾燥機には付属されています。）



洗濯乾燥機特有項目

■除湿乾燥機の排水ホースについて

衣類乾燥機の排水は別売の「衣類乾燥機排水ホース（1.5m）」を使用し防水パンや排水口に排水してください。洗濯機の排水ホースとつなげる場合は別売の「排水ジョイントセット DJS-1」を使用してください。排水口が洗濯機の下にあるときは、別売の「真下排水パイプ（THP-2 長さ0.2m、THP-3 長さ0.4m）」と「排水継手1」が必要です。

7. アース線の取り付け

⚠ 警告



アース線は確実に取り付ける

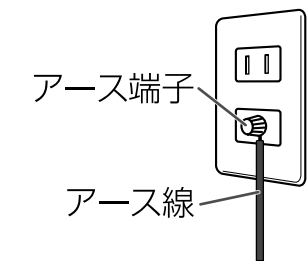
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース工事は、電気工事店または販売店にご相談ください。

お願い

- ガス管、電話線や避雷針、水道管にはアースの接続をしないでください。（法令などで定められています。）

■感電防止のためアース線を取り付ける。

感電事故防止のためにアース線を取り付けてください。アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。



■アース端子がないときは

販売店・電気工事店にご依頼ください。法令により、電気工事士によるD種接地工事が 必要です。（費用は有料です。）

8. 電源コードの接続

⚠ 警告



電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

電圧や定格が異なると火災、感電の原因となります。また、他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



傷んだ電源コード、電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグはぬれた手で抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。



電源コードを傷付けない

破損させない、加工しない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、金属部にかけない、重い物を載せない、はさみ込まない。コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発熱による火災の原因になります。

9. 給水ホースの取り付け

■ 本体への取り付けかた

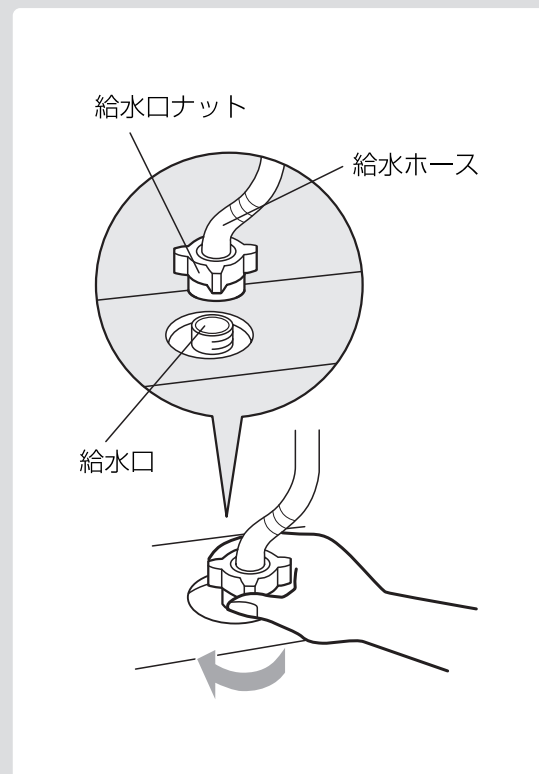
確実に取り付けないと水もれの原因になります。ホース継手は付属品のホース継手を使用してください。ワンタッチ給水栓ジョイントがすでに水栓に取り付けられている場合は、必ず別売の「給水栓ジョイント」(CB-J6)に交換してください。交換しないと給水ホースがはずれて思わぬ被害を招くことがあります。

*取り付けが確実にできなかったり、水もれが発生する場合は、お買い上げの販売店または、東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

■ 給水ホースの取り付け

1 給水ホースを本体の給水口に 取り付けます。

- 給水ホースの先についている給水口ナットを本体の給水口にしっかり締め付けます。



■ ホース継手の取り付け

1 給水ホースのロックレバーを押し、 ①そのままの状態スリーブを引き下げて ②ホース継手からはずします。

2 蛇口の直径を確認します。

- 蛇口が大きいときはネジをゆるめて別リングをはずします。

3 ホース継手の4本のネジをゆるめ、蛇口に 押しあてます。

4 ネジ4本を均等に締め付けます。 このときノズルとリングのすき間が約4 mmであることを確認します。

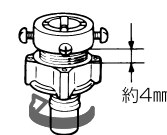
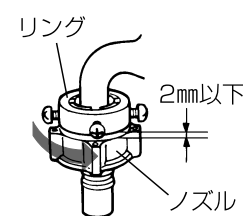
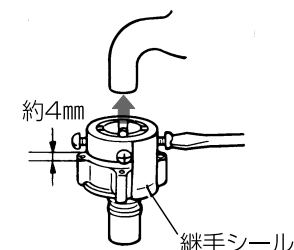
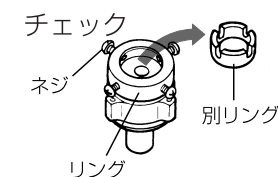
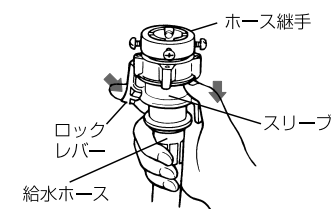
- 壁側になるネジ1本を前もって調整しておくことで取り付けやすくなります。
- 取り付けるときには、水栓に無理な力がかからないように注意してください。

5 継手シールをはがし、ノズルを矢印方 向へ回して、しっかり締め付けます。

6 ノズルとリングのすき間が2mm以下にな っているかを確認します。

- ノズルとリングのすき間が広いと水もれの恐れがあります。
- 使用中水もれした場合は、さらに締め付けてください。
- ネジやノズルをさらに締め付けたり、付け直しても不具合なときは、ホース継手を取り換えてください。

お願い ● 引っ越しなどで再び継手を取り付ける場合は、ノズルとリングのすき間から約4mmになるようにノズルをゆるめてから、上記内容に従って取り付けてください。水もれを防ぐためです。



⚠ 注意

！ 洗濯前に水栓を開き、給水ホースの接続部のゆるみや水もれのないことを確認する

水もれ確認 ● ネジやホース接続などがゆるんでいると、水もれて床などの家屋や家具などをぬらしたり、破損したりすることがあります。

■ 給水ホースのつなぎかた

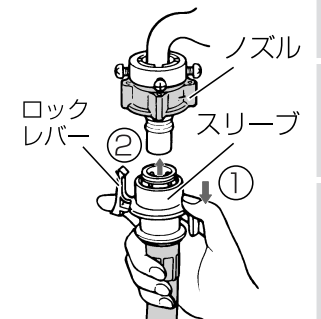
1 スリーブを引き下げたまま、 給水ホースを差し込みます。

2 スリーブを離し“パチン”と 音がするまで押し上げます。

3 ロックレバーがノズルに掛か っていることと、ホースを下 に引いても抜けないことを確 認します。

4 本体の電源は入れないで、水栓を開きホース継手など から水もれがないことを確認します。

- 一度水を通してからホースをはすと水が飛び散りますので注意してください。
- 給水ホースを延長したいときは、別売りの給水延長ホースを使用してください。

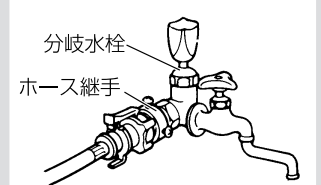


■ 水栓の形状：横水栓が適しています。



- 自在水栓、万能ホーム水栓、ワンタッチ給水栓に取り付けの場合は別売の「給水栓ジョイント」(CB-J6)を使用してください。
- 緊急止水弁付洗濯機用水栓で、一部当社継手と合わないものがありますので確認してください。

お願い ● 水栓は運転終了後、必ず締めてください。
● 水栓が合わない場合は、お買い上げ販売店または、東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。
● 給湯器設備には取り付けしないでください。
● 洗濯機専用水洗の設置には、別売の「分岐水栓」(JB-11)の利用をおすすめします。



10. チェック項目

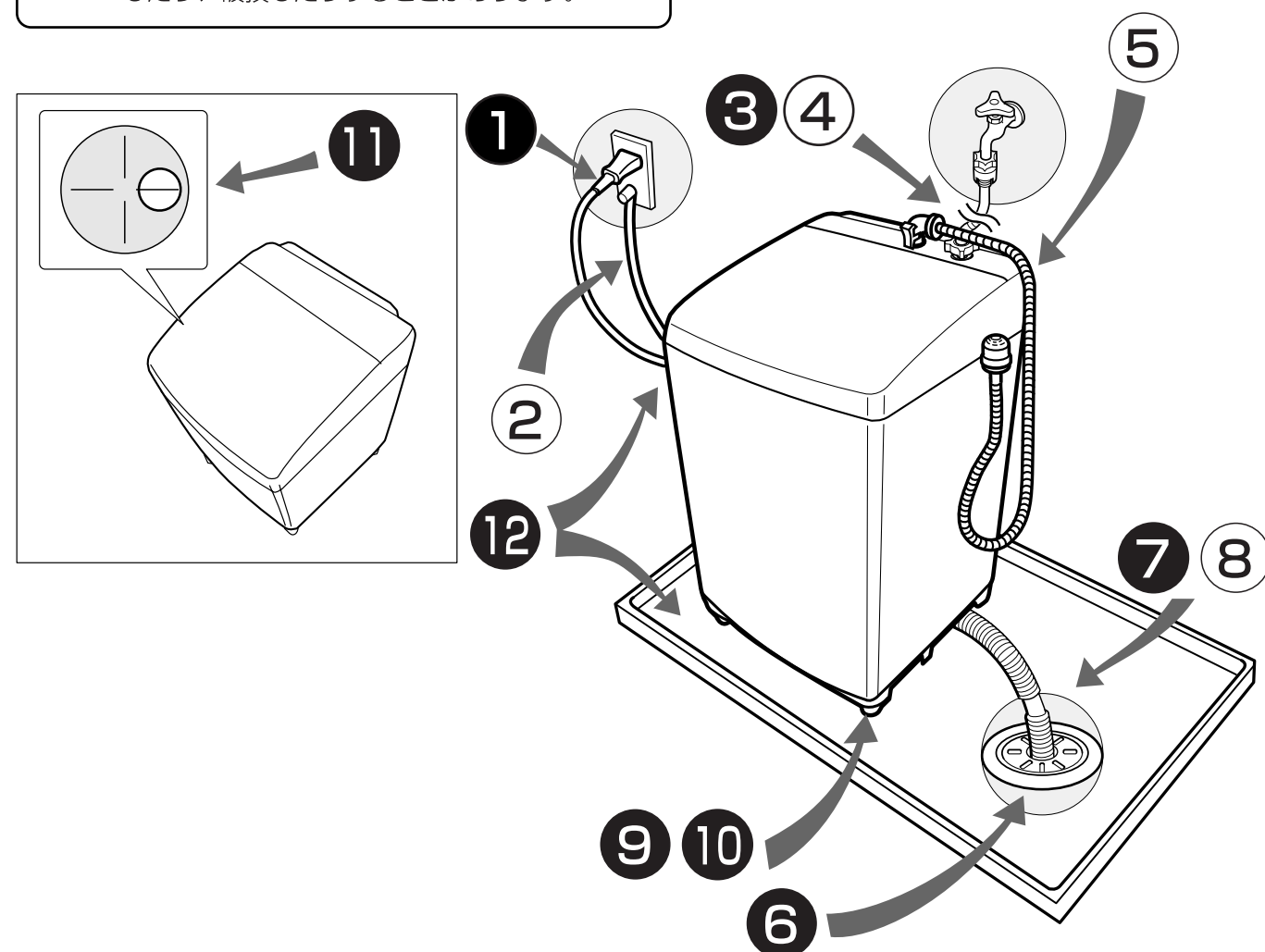
■設置が完了しましたら、今一度このチェック項目を確認してください。

⚠ 注意

❌ 浴槽の水位面が洗濯機より高い位置でふろ水用給水ホースを使わない
禁止 サイフォン現象により、ポンプ運転が終わっても水が出続け、床などの家屋や家具などをぬらしたり、破損したりすることがあります。

正しく設置しないと異常振動・騒音や水もれの原因になります。

※●印の番号は電話でのお問い合わせが多い項目です。



※ホース類の取り付け位置は、機種により若干異なります。

電源コード

チェック

- ① 交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使っていますか？
コンセントの緩みや電源コード・プラグの傷みはありませんか？

アース線

チェック

- ② アース線は取り付けてありますか？
感電防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

給水ホース、ふろ水ホース

チェック

- ③ 水栓側及び本体の給水ホース接続部に水もれはありませんか？

チェック

- ④ 濁った水が出ませんか？

チェック

- ⑤ ふろ水ポンプは正常に作動し、ふろ水ホースの水もれはありませんか？

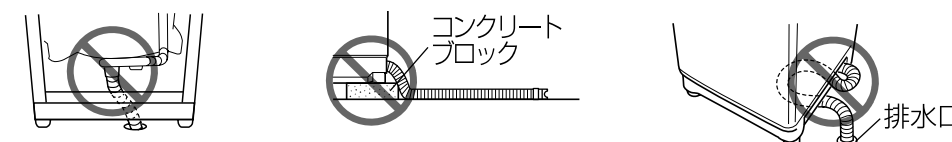
排水ホース

チェック

- ⑥ 排水口にゴミがたまっていますか？
排水口はご使用後も定期的にチェックしてください。

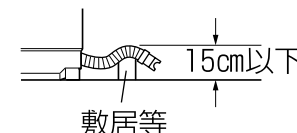
チェック

- ⑦ 排水ホースを本体の下に入れたり、よじれ、つぶれはありませんか？



チェック

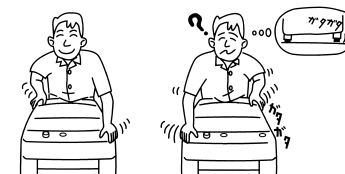
- ⑧ 排水ホースが15cm以上持ち上がっていますか？
敷居等



本体

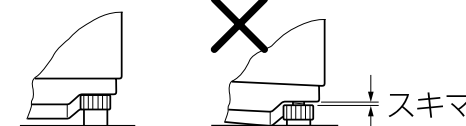
チェック

- ⑨ 本体の対角を押えたときにガタついていませんか？



チェック

- ⑩ 脚ナットはしっかり締まっていますか？



チェック

- ⑪ 水準器の基準線の内側が気泡の中に入っていますか？

チェック

- ⑫ 試運転で異常音や水もれはありませんか？
正常に排水されていますか？
(電源コード、アース線、ホースが製品に接触していませんか？)